

2022年4月26日
株式会社オーケーエム

世界シェア No.1 製品をモデルチェンジ、2022年4月から販売開始

～従来製品の構造を見直し、性能はそのままにコンパクト化、軽量化を実現～

各種流体制御バルブの開発・製造・販売を行う株式会社オーケーエム(本社：滋賀県野洲市、代表取締役社長：奥村晋一、以下「オーケーエム」)は、世界シェア No.1 を誇る船舶排ガス用バルブ「ExV シリーズ」のモデルチェンジ機「ExV MARK II」を開発し、2022年4月から販売を開始します。

■船舶排ガス用バルブ「ExV シリーズ」とは

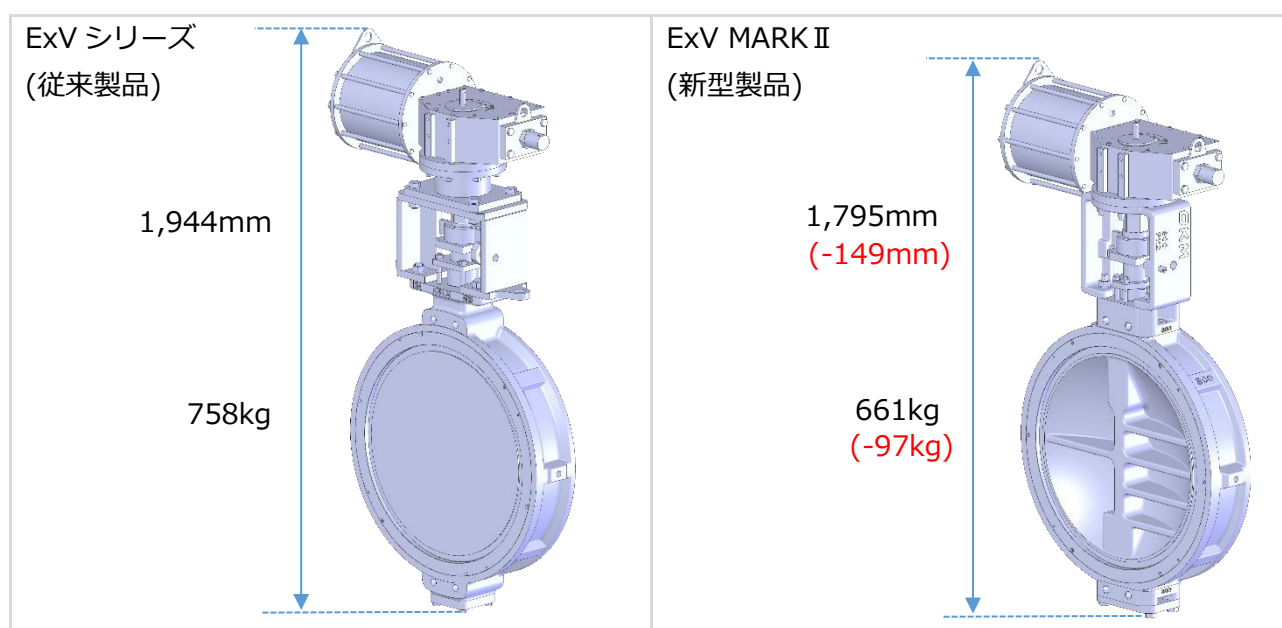
国際海事機関(IMO)による環境規制では、人の健康や環境を保全するため、船舶からの排気ガス中の大気汚染物質(NOx、SOx等)濃度の低減が求められます。その対応策の一つとして、船舶にSCR、EGR装置(脱硝装置)を搭載することが挙げられ、当社の船舶排ガス用バルブが必要とされます。

オーケーエムは、船舶用エンジンで世界シェア No.1 のライセンサーである MAN エナジーソリューションズといち早く共同開発を進め、2017年に「ExV シリーズ」を上市。現在、同市場に参入しているのはオーケーエムを含めて世界で5社、その中でシェア No.1 を獲得しています(自社調べ)。

■ExV MARK IIの特徴

「ExV MARK II」は、従来製品の構造を見直したことで、性能はそのままにコンパクト化、軽量化を実現しました。当製品の販売開始により、さらに競争優位性を向上させ、世界シェア No.1 の維持を目指します。

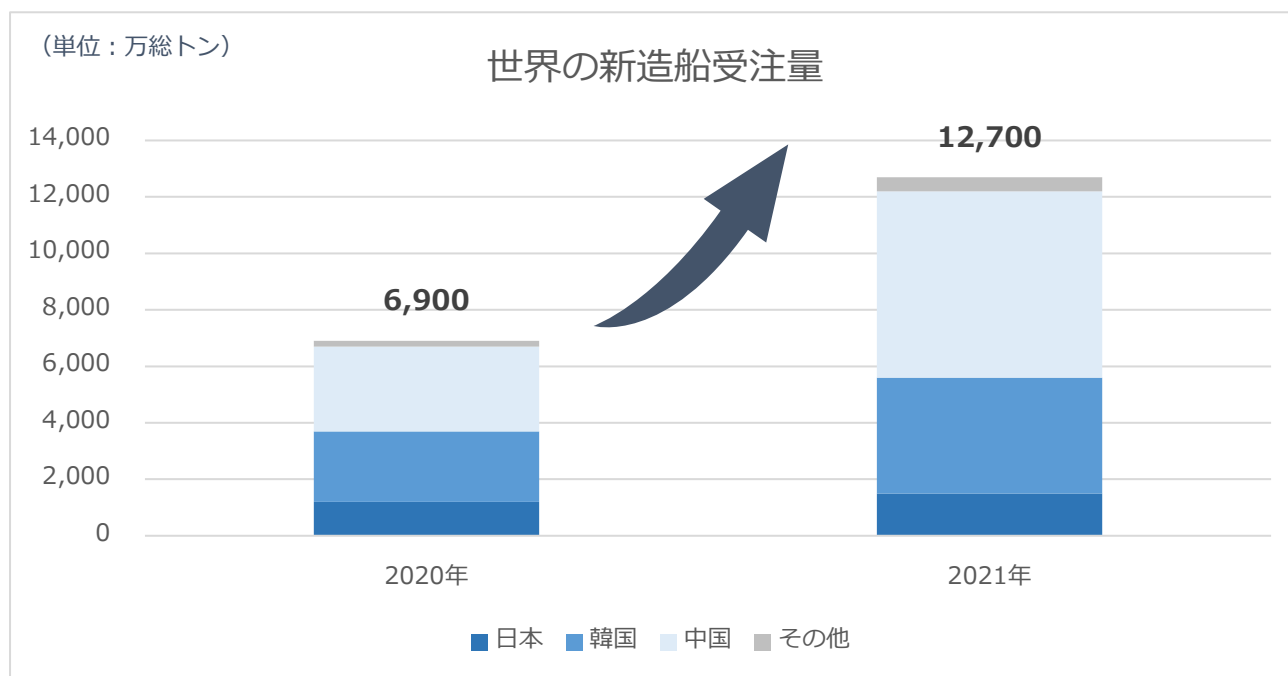
【800A*サイズを比較】 *バルブの輪っか部分の内径が800mm



■今後の見通し

新型コロナウイルスの影響を受けて落ち込んでいた世界の新造船受注量が、2021年に大きく増加しました(下表)。その要因は、新型コロナを発端とする世界的な貨物量の急増によるコンテナ船不足や脱炭素化に向けたLNG等への新燃料船への代替などです。

2021年に受注された船舶は、概ね2022~2024年の間に竣工され、船舶建造量の増加に合わせて船舶用バルブの需要が拡大します。さらに、新造船の中でも、環境規制対応船の比率が向上しているため、船舶排ガス用バルブの需要も拡大していくと見込んでいます。オーケーエムは、その需要増を取り込み、船舶排ガス用バルブ市場の世界シェア No.1 を維持・継続することで、今後も業績を拡大してまいります。



※日本舶用工業会資料等より当社作成

■会社概要

社名	:	株式会社オーケーエム
代表	:	代表取締役社長 奥村 晋一
本社所在地	:	滋賀県野洲市市三宅 446-1
ホームページ	:	https://www.okm-net.jp
設立	:	1962年5月31日（創業：1902年1月）
資本金	:	11億7,819万円
従業員数	:	連結：326名、単体：233名 ※2022年3月末時点、臨時従業員を除く
連結売上高	:	8,759百万円 ※2021年3月期
上場証券取引所	:	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：6229）
事業内容	:	工業用、建築用、船舶用等各種バルブの開発・製造・販売

<オーケーエムについて>

オーケーエムは、1902年創業の百年企業で祖業は木挽鋸の製造業でしたが、1952年より「バルブ」専門メーカーに転換しました。空調設備、船舶、半導体、石油、化学、鉄鋼、電力、水道、食品など、あらゆる配管の流体制御に使われるバルブを製造しています。型式・サイズ・材質などの組み合わせにより、顧客の個別ニーズに合わせて10万種類以上のカスタマイズが可能です。

近年では、SDGsの取組の一環として、船舶排ガス用バルブやバラスト水処理装置用バルブ等の販売により、環境保全や生態系保護にも尽力しております。その成果が認められ、2020年6月に経済産業省より「2020年版グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。また、2020年12月には東京証券取引所市場第二部(現 スタンダード市場)への新規上場を果たしました。

■バルブ(弁)とは

主に配管などの内部を通す空気やガス等の気体、水や油等の液体、あるいは粉体等の流体が通る空間の開閉や流体の制御および調節等ができる可動機構をもつ機器の総称です。

■各種認定ロゴマーク



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社オーケーエム 経営企画課 森川・奥村
TEL：077-518-1260(代表) MAIL：prier@okm-net.co.jp

※掲載情報は、発表当時の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。